

かつては「天井川」として全国的にも有名であった旧草津川。その役割を終えた今なお、草津市を横断する都市の軸として重要な空間であり続けています。今年度3回を予定するワークショップ（話し合いの場）では、先行的に取り組む区域の基本設計に合わせて、地域の皆さまからの幅広いご意見を頂きます。12月8日に開催された第1回目のワークショップには85名の方がご参加くださり、草津川跡地の将来像について活発な意見交換がなされました。



## プログラム

日時：2012年12月8日(土)

午後3時～5時30分

場所：草津市役所8階大会議室

参加者：85名

01. 開会
02. 座学
03. テーブルワーク
04. 次回ワークショップのご案内
05. 閉会



## 01. 開会 (草津市役所 田中政策監)

市では、草津川跡地を全国のどこにもないまちづくりの舞台とすべく市民の皆さんと検討を進めています。平成22年度に基本構想を、翌年10月には、より具体的な整備イメージを示した基本計画を策定しました。基本計画では、「ガーデンミュージアム」をコンセプトとして掲げ、草津川跡地が持つ特性を最大限に利用して人と自然、人と人とが繋がる空間づくりを目指しています。

今後は全長を6つの区間に分け、それぞれの周辺環境の特性を踏まえて、整備を進めていきます。

この3回のワークショップでは、皆さんが近い将来、草津川跡地でどんな活用がしたいかイメージを膨らませて頂き、議論して頂きたいと考えています。貴重なご意見は草津川跡地の空間デザインに反映していきます。



## 02. 座学 (studio-L 代表 山崎亮)

今年の9月に「草津川跡地市民フォーラム」で草津市の皆さんと意見交換をさせて頂きました。その際に、草津市の皆さんから「草津川跡地は私たち市民が使いこなしていく」という姿勢を感じました。素晴らしいことですね。

草津川跡地は、徐々にまちづくりの舞台としての整備が進みます。市民の皆さんが愛着を持ち、いつも誰かがそこで活動しているならば、草津川跡地は魅力的な公共空間になるはずです。そのためにも、このワークショップを通じて、どのように跡地を使いたいのか、皆さんからの意見を頂くことが大切だと考えています。我々は皆さんのお話を聞いて、皆さんの活動を実現するための仕組みをつくるお手伝いをする立場で来ています。ぜひ我々に、どのように跡地を使いたいのか、どのような時間を過ごしたいかについてお伝えください。

そしてこの場には、地元のコミュニティや市民団体が活動されている方、学生さんなど様々な方が参加されています。きっと新たな出会いがあると思います。ぜひこのワークショップで様々な方と知り合い、草津川跡地を舞台とした活動へとつないで頂きたいと考えています。



### 参加者全員 Yes, and に挑戦!



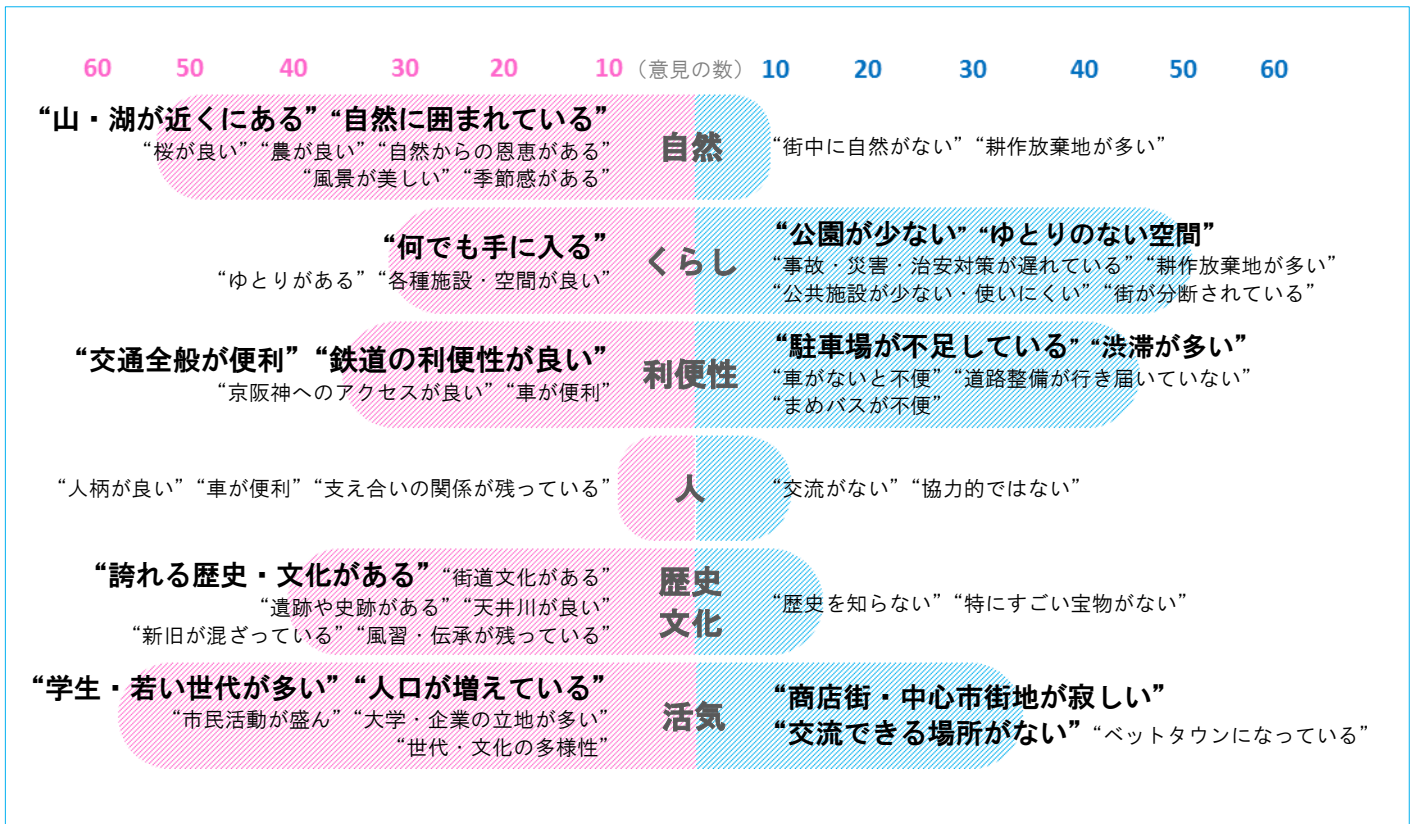
「Yes, and」とは、相手の提案を「そうですね! (Yes!)」と受け入れ、「さらに~はどうでしょう? (and~?)」と提案を付け加える方法です。聞き方・話し方を変えるだけで、提案内容がどんどん膨らんでいくことが体験できました。話し合いの場でも同様の意識を持つことで、アイデアが生まれやすくなります。

### 03. テーブルワーク

参加者は10班にわかれ、草津のまちや草津川跡地の魅力や課題、草津川跡地ですてみたい活動について意見交換をしました。

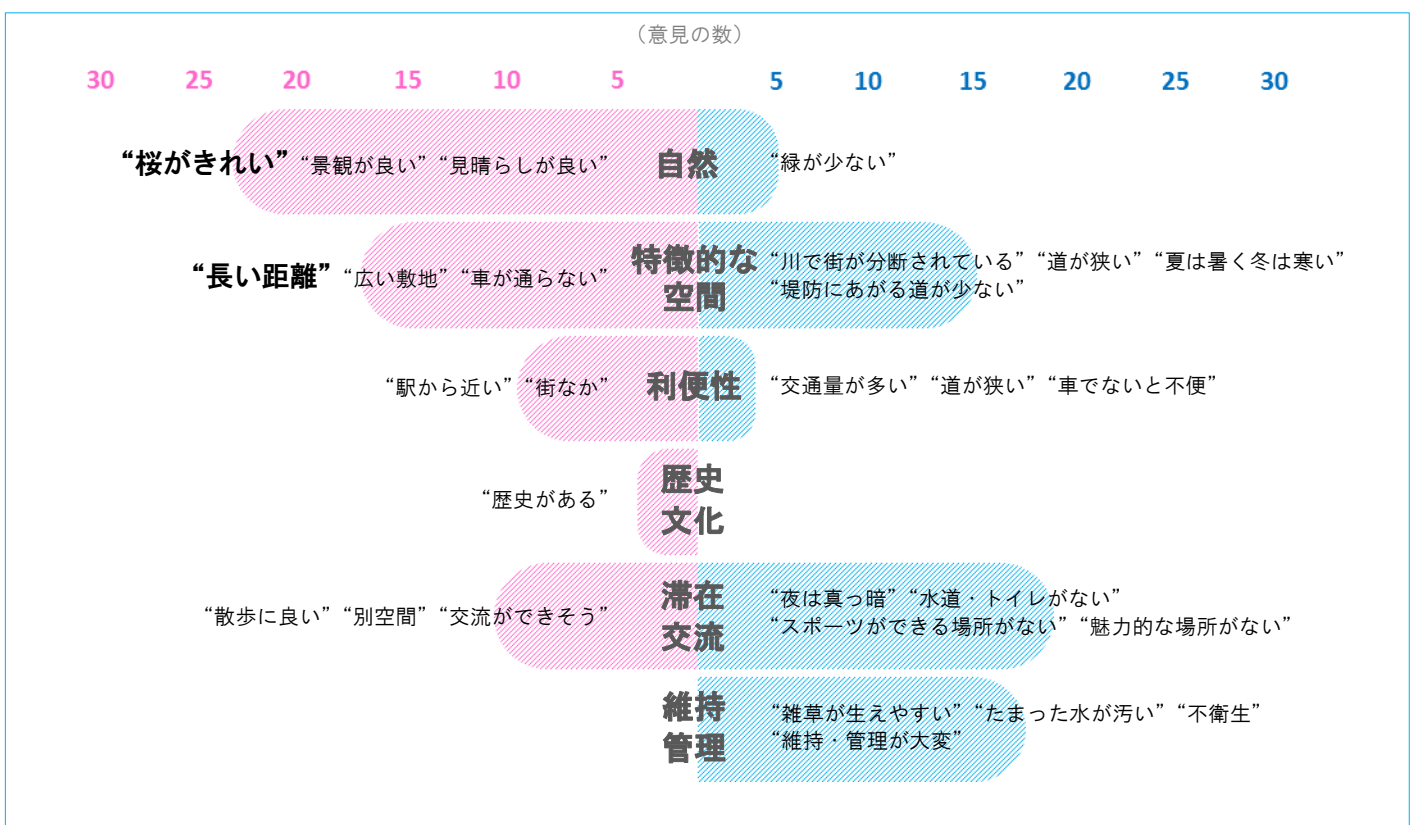
#### 草津のまちの魅力、良いところ

#### 草津のまちの課題、悩み



#### 草津川跡地の魅力、良いところ

#### 草津川跡地の課題、悩み



# 草津川跡地でしてみたい活動

